

## 陸上競技（短距離）プログラム報告 2014年4月26日（土）中村 泰雄

福祉村の染井吉野の花はとうにピークを過ぎて名残りさえ残していませんが、未だ『・・・桜』の樹の花が何とか名残を留めています。上溝桜です。『上溝桜』はこれで『ウワミズザクラ』と読みます。昔、亀甲で占いをする時、この木の材の上面に溝を彫って使ったところから上溝桜と呼ばれていましたが、そのウワミズが訛ってウワミズになったということです。

配布プリントはこの上溝桜で作りました。五年前（2009/4/05）にも同じテーマでプリントを作っていますが、五年も経てば無かったも同然・・・・にはならないかも知れませんが、マ、固いことは抜きにして。

私はウオーキングのスタートを見送ってから一行とは別ルートを自転車で上溝桜の樹に急ぎました。上溝桜はジョギングコースが新川を渡る飛翔橋のすぐ先に生えています。

此処で待つこと十分。先頭は例によってSS君でした。続く二番、三番・・・・が3分、5分の差で到着します。一行の殆どが到着したところで簡単な説明。此処でファミリーの一人から上溝桜で作る樺細工に関する質問が有りましたが準備不足で上手く答えられませんでした。反省。

ウオーキングの後は二千を走り、その後、種目別に分かれて、短距離グループは東に移動して冒険広場横の下り坂を利用してスピード練習、芝生広場と冒険広場の間の横道に移動してクラウチングスタートのブラシアップをし、十一時三十五分、熱い（多分夏日の）プログラムを終了しました。